

登録コード	SSG03614	開講年度	2026			
授業題目	特別研究（化学ユニット）				担当教員	伊藤 冬樹
英文授業名	Special Research(Chemistry Unit)				副担当	
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期	
講義室					備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学					
	【DP1】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観				修士論文作成を通して, 人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を身につけることができるようになる。	
	2 4 SSカリ・理学					
	～24SS【DP2】環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養				修士論文作成を通して, 知識基盤社会を支える高い知的素養を身につけることができるようになる。	
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力				修士論文作成を通して, 高度な専門的知識と文献検索による情報収集, 論文執筆によって成果を発信できるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学					
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力				光化学または有機物理化学に関する専門的な研究を進める過程で, 創造性豊かな優れた研究ができるようになる。	
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力				光化学または有機物理化学に関する専門的な研究を進める過程で, 専門的な知識を身につけ, その妥当性を理論的に説明し, 議論することができるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学					
	【DP2】それぞれの研究分野における高度な専門的知識と環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養				修士論文作成を通して, 知識基盤社会を支える高い知的素養を身につけることができるようになる。	
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				修士論文作成を通して, 高度な専門的知識と文献検索による情報収集, 論文執筆によって成果を発信できるようになる。	
(2)授業の概要	光化学または有機物理化学に関する専門的な研究を進め, 修士論文を作成する。					
(3)授業のキーワード	光化学, 有機物理化学, 有機結晶					
(4)授業計画	光化学または有機物理化学に関する専門的な研究を進める。 年度を通して, 週一回のゼミナールで重要論文の講読, 関連論文の紹介, 進捗状況の報告, 到達点の確認, 今後の方向性を含めた打ち合わせなどを行う。実験および結果の解析は, 打ち合わせに基づいて, 各自の計画で進める。					
(5)成績評価の方法	実験・ゼミナールへの取り組み姿勢から専門学問分野における知識・技能を平常時の態度・学会発表の有無から評価する(50%) また, 的確に読み, 書き, 聞き, 他者に伝えることができる能力について修士論文の執筆状況(50%)によって評価する。					
(6)成績評価の基準	成績評価の観点に基づいて客観的に評価するために以下の項目を基準とする。 卓越している: 英語学術誌へ筆頭著者として発表可能な研究成果を残している。 かなり上にある: 英語学術誌へ共同研究者として発表可能な研究成果を残している。 やや上にある: 国内学会へ発表可能な研究成果を残している。 その水準にある: 修士論文として発表できる研究成果を残している。					
(7)事前事後学習の内容	研究・実験そのものは授業計画には含まれておらず, 毎日行うものであるため, 事前事後学習ではなく, 常に取り組む姿勢を求める。					
(8)履修上の注意	毎日研究室に来て, 活動を行うこと。					
(9)質問,相談への対応	対面あるいはメール(fito@shinshu-u.ac.jp)で対応する。					
【教科書】	指定しない					
【参考書】	適宜紹介する。					